



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月29日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊部 幸顕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報部長 (氏名) 森山 茂 TEL (03)3661-1039

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	37,160	△3.1	1,189	4.9	1,152	3.3	854	12.6
19年3月期第3四半期	38,358	△10.4	1,133	△22.7	1,115	△19.8	759	△26.4
19年3月期	52,757	—	3,438	—	3,341	—	2,068	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	20.39	—
19年3月期第3四半期	17.95	—
19年3月期	48.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	57,858	28,610	49.4	684.91
19年3月期第3四半期	60,056	28,159	46.9	669.06
19年3月期	58,519	29,597	50.6	703.57

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	173	△895	1,175	2,478
19年3月期第3四半期	△1,542	△3,865	5,406	2,014
19年3月期	2,749	△4,876	2,136	2,025

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	52,000	△1.4	2,400	△30.2	2,300	△31.2	1,500	△27.5

	1株当たり 当期純利益	
	円	銭
通 期	35.	83

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 [新規 社（社名 ） 除外 社（社名 ）]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきましては、平成19年11月20日発表の数値を変更しておりません。
- 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により記載の予想数値とは異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

医療用医薬品業界におきましては、医療費抑制策の継続基調のなか企業間競争は一層激化しており、またOTC医薬品市場におきましても長期低迷から脱しきれず、ともに厳しい環境下で推移しております。

このような情勢の中、医療用医薬品部門におきましては、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®顆粒 15%・D錠 75」の市場浸透に加え、昨年 11 月より販売を開始いたしましたH₂受容体拮抗剤「アシノン®錠 75mg・150mg」による市場拡大により、最重点領域である消化器官用薬を中心に市場構築に努めてまいりました。

一方、コンシューマーヘルスケア部門におきましては、主力製品群である「コンドロイチン群」が引続き関節痛内服薬市場のトップブランドとして順調に推移するとともに、筑波工場第 2 号棟の操業拡大により各製品群の市場構築に努めてまいりました。

以上のような営業活動の結果、当四半期の売上高は 371 億 60 百万円(前年同期比 3.1%減)となりました。利益につきましては原価低減の効果もあり、営業利益 11 億 89 百万円(前年同期比 4.9%増)、経常利益 11 億 52 百万円(前年同期比 3.3%増)、四半期純利益 8 億 54 百万円(前年同期比 12.6%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況について

当四半期末の総資産は 578 億 58 百万円となり、前連結会計年度末対比 6 億 60 百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が 247 億 77 百万円で、前連結会計年度末対比 4 億 98 百万円の増加、固定資産が 330 億 80 百万円で、11 億 59 百万円の減少となっております。資産の部の主な増減は、流動資産では受取手形及び売掛金が 6 億 63 百万円減少する一方で、たな卸資産が 6 億 42 百万円増加いたしました。また、固定資産では、株式市場の低迷による時価評価額の低下から投資有価証券が 14 億 7 百万円減少し、固定資産減少の主要因となっております。

当四半期末の負債合計は 292 億 47 百万円となり、前連結会計年度末対比 3 億 25 百万円の増加となりました。その増減の主なものは、短期借入金の増加 27 億 89 百万円、賞与引当金の減少 5 億 57 百万円、長期借入金の減少 12 億 34 百万円等であります。

当四半期末の純資産は 286 億 10 百万円となり、前連結会計年度末対比 9 億 86 百万円の減少となりました。これは、四半期純利益を 8 億 54 百万円計上したものの、前期末ならびに当中間期の配当の実施 6 億 71 百万円、投資有価証券の評価差額金の減少 8 億 65 百万円等の影響によるものであります。以上の結果、当四半期末の自己資本比率は前連結会計年度末対比 1.2%低下し、49.4%となりました。

②キャッシュ・フローについて

当四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、期首残高対比 4 億 53 百万円増加し、24 億 78 百万円となりました。これは、投資活動によるキャッシュ・フローが 8 億 95 百万円のマイナスであったものの、営業活動及び財務活動によるキャッシュ・フローが各々 1 億 73 百万円、11 億 75 百万円のプラスであったことによるものであります。

当四半期における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は 1 億 73 百万円の資金の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の計上 14 億 83 百万円、減価償却費の計上 15 億 43 百万円、たな卸資産の増加額 6 億 42 百万円、仕入債務の減少額 7 億 77 百万円、法人税等の支払額 13 億 26 百万円等によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は 8 億 95 百万円の資金の減少となりました。これは、投資有価証券の売却等による収入 20 億 72 百万円、投資有価証券の取得による支出 17 億 86 百万円、無形固定資産の取得による支出 6 億 50 百万円、有形固定資産の取得による支出 4 億 26 百万円等によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は 11 億 75 百万円の資金の増加となりました。これは、短期借入金の増加 30 億 45 百万円、預り担保金の増加 5 億 78 百万円、長期借入金の返済による支出 15 億 99 百万円、配当金の支払額 6 億 54 百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く厳しい経営環境は今後も継続するものと考えられます。このような中、第 4 四半期は医療用医薬品部門におきましては、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®顆粒 15%・D錠 75」、H₂受容体拮抗剤「アシノン®錠 75mg・150mg」による消化器官用薬の市場拡大、コンシューマーヘルスケア部門におきましては、主力製品群である「コンドロイチン群」の市場拡大が引続き見込まれることから、平成 19 年 11 月 20 日発表の通期の業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準について年間予測税率を使用している他、影響額の僅少なものについて、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円, 端数切捨表示)

科 目	前年同四半期末		当四半期末		(参考) 前期末	
	〔平成19年3月期〕 第3四半期末		〔平成20年3月期〕 第3四半期末		(平成19年3月期末)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資 産 の 部)		%		%		%
I 流 動 資 産						
1. 現 金 及 び 預 金	2,145		2,605		2,152	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	15,384		13,258		13,922	
3. た な 卸 資 産	4,918		5,470		4,827	
4. 繰 延 税 金 資 産	837		752		864	
5. そ の 他	3,129		2,732		2,560	
貸 倒 引 当 金	△ 39		△ 41		△ 47	
流 動 資 産 合 計	26,376	43.9	24,777	42.8	24,278	41.5
II 固 定 資 産						
1. 有 形 固 定 資 産						
建 物 及 び 構 築 物	6,625		6,349		6,503	
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	1,549		3,153		3,331	
土 地	9,811		9,847		9,811	
建 設 仮 勘 定	1,096		24		12	
そ の 他	344		287		322	
有 形 固 定 資 産 合 計	19,428	32.3	19,662	34.0	19,981	34.1
2. 無 形 固 定 資 産	1,304	2.2	1,720	3.0	1,379	2.4
3. 投 資 そ の 他 の 資 産						
投 資 有 価 証 券	7,170		6,040		7,447	
長 期 前 払 費 用	3,690		3,120		3,525	
繰 延 税 金 資 産	417		797		197	
そ の 他	1,774		1,830		1,793	
貸 倒 引 当 金	△ 104		△ 90		△ 83	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	12,948	21.6	11,697	20.2	12,879	22.0
固 定 資 産 合 計	33,680	56.1	33,080	57.2	34,240	58.5
資 産 合 計	60,056	100.0	57,858	100.0	58,519	100.0

(単位：百万円, 端数切捨表示)

期 別 科 目	前年同四半期末		当四半期末		(参考) 前期末	
	〔平成19年3月期〕 第3四半期末		〔平成20年3月期〕 第3四半期末		(平成19年3月期末)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負 債 の 部)		%		%		%
I 流 動 負 債						
1. 支払手形及び買掛金	6,447		5,131		5,909	
2. 短期借入金	13,137		10,828		8,039	
3. 賞与引当金	402		382		939	
4. 返品調整引当金	239		220		216	
5. 売上割戻引当金	368		352		236	
6. その他	2,770		3,729		3,574	
流動負債合計	23,365	38.9	20,645	35.7	18,915	32.3
II 固 定 負 債						
1. 社 債	1,000		2,000		2,000	
2. 長期借入金	6,174		5,504		6,739	
3. 退職給付引当金	1,046		785		947	
4. 役員退職慰労引当金	193		209		201	
5. その他	117		102		117	
固定負債合計	8,532	14.2	8,601	14.9	10,005	17.1
負債合計	31,897	53.1	29,247	50.6	28,921	49.4
(純 資 産 の 部)						
I 株 主 資 本						
1. 資 本 金	6,593	11.0	6,593	11.4	6,593	11.3
2. 資本剰余金	5,414	9.0	5,414	9.3	5,414	9.3
3. 利益剰余金	21,364	35.6	22,856	39.5	22,673	38.7
4. 自己株式	△ 6,562	△ 10.9	△ 6,887	△ 11.9	△ 6,585	△ 11.3
株主資本合計	26,810	44.7	27,977	48.3	28,096	48.0
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価差額金	1,338	2.2	633	1.1	1,498	2.6
2. 繰延ヘッジ損益	11	0.0	—	—	2	0.0
評価・換算差額等合計	1,349	2.2	633	1.1	1,500	2.6
純資産合計	28,159	46.9	28,610	49.4	29,597	50.6
負債及び純資産合計	60,056	100.0	57,858	100.0	58,519	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円, 端数切捨表示)

科 目	期 別	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期		当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期		(参考) 前期 (平成19年3月期)	
		金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
I 売 上 高		38,358	100.0	37,160	100.0	52,757	100.0
II 売 上 原 価		18,353	47.8	17,156	46.2	24,129	45.7
売 上 総 利 益		20,005	52.2	20,003	53.8	28,627	54.3
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		18,871	49.2	18,814	50.6	25,189	47.8
営 業 利 益		1,133	3.0	1,189	3.2	3,438	6.5
IV 営 業 外 収 益		194	0.5	292	0.8	212	0.4
1. 受 取 利 息 及 び 配 当 金		112		182		113	
2. 為 替 差 益		30		4		46	
3. 出 資 運 用 益		21		-		5	
4. 受 入 補 償 金		-		63		-	
5. そ の 他		30		42		46	
V 営 業 外 費 用		212	0.6	328	0.9	308	0.6
1. 支 払 利 息		135		181		194	
2. コミットメント契約費用		48		108		64	
3. そ の 他		28		38		49	
経 常 利 益		1,115	2.9	1,152	3.1	3,341	6.3
VI 特 別 利 益		369	1.0	343	0.9	359	0.7
1. 固 定 資 産 売 却 益		0		0		0	
2. 投 資 有 価 証 券 売 却 益		336		342		336	
3. 貸 倒 引 当 金 戻 入 額		32		-		21	
VII 特 別 損 失		53	0.2	12	0.0	105	0.2
1. 固 定 資 産 除 却 損		53		8		105	
2. 投 資 有 価 証 券 評 価 損		-		4		-	
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,432	3.7	1,483	4.0	3,595	6.8
法 人 税 等		673	1.7	628	1.7	1,527	2.9
四 半 期 (当 期) 純 利 益		759	2.0	854	2.3	2,068	3.9

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)

(単位：百万円, 端数切捨表示)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
平成18年3月31日残高	6,593	5,414	21,283	△ 6,164	27,126	2,226	—	2,226	29,353
当四半期中の変動額									
剰余金の配当			△ 678		△ 678				△ 678
四半期純利益			759		759				759
自己株式の取得				△ 397	△ 397				△ 397
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)						△ 888	11	△ 877	△ 877
当四半期中の変動額合計	—	—	80	△ 397	△ 316	△ 888	11	△ 877	△ 1,193
平成18年12月31日残高	6,593	5,414	21,364	△ 6,562	26,810	1,338	11	1,349	28,159

当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)

(単位：百万円, 端数切捨表示)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
平成19年3月31日残高	6,593	5,414	22,673	△ 6,585	28,096	1,498	2	1,500	29,597
当四半期中の変動額									
剰余金の配当			△ 671		△ 671				△ 671
四半期純利益			854		854				854
自己株式の取得				△ 302	△ 302				△ 302
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)						△ 865	△ 2	△ 867	△ 867
当四半期中の変動額合計	—	—	183	△ 302	△ 119	△ 865	△ 2	△ 867	△ 986
	6,593	5,414	22,856	△ 6,887	27,977	633	—	633	28,610

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位: 百万円, 端数切捨表示)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
平成18年3月31日残高	6,593	5,414	21,283	△ 6,164	27,126	2,226	—	2,226	29,353
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 678		△ 678				△ 678
当期純利益			2,068		2,068				2,068
自己株式の取得				△ 420	△ 420				△ 420
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 728	2	△ 726	△ 726
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,390	△ 420	969	△ 728	2	△ 726	243
平成19年3月31日残高	6,593	5,414	22,673	△ 6,585	28,096	1,498	2	1,500	29,597

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円, 端数切捨表示)

科 目	期 別	前年同四半期	当四半期	(参考) 前期
		(平成19年3月期 第3四半期)	(平成20年3月期 第3四半期)	(平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		1,432	1,483	3,595
2. 減価償却費		1,136	1,543	1,609
3. 賞与引当金の増減額(減少は△)		△ 465	△ 557	72
4. 退職給付引当金の減少額		△ 432	△ 162	△ 530
5. 投資有価証券売却益		△ 336	△ 342	△ 336
6. 売上債権の増減額(増加は△)		△ 148	653	1,324
7. たな卸資産の増加額		△ 1,097	△ 642	△ 1,006
8. 仕入債務の減少額		△ 43	△ 777	△ 580
9. その他		△ 1,042	308	△ 800
小計		△ 997	1,504	3,345
10. 法人税等の支払額		△ 519	△ 1,326	△ 519
11. その他		△ 25	△ 4	△ 76
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,542	173	2,749
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の取得による支出		△ 3,440	△ 426	△ 4,330
2. 無形固定資産の取得による支出		△ 344	△ 650	△ 380
3. 投資有価証券の取得による支出		△ 465	△ 1,786	△ 610
4. 投資有価証券の売却等による収入		388	2,072	428
5. その他		△ 2	△ 105	16
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,865	△ 895	△ 4,876
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金の純増減額(減少は△)		4,200	3,045	△ 300
2. 預り担保金の純増加額		—	578	298
3. 社債発行による収入		—	—	1,000
4. 長期借入れによる収入		3,100	110	4,210
5. 長期借入金の返済による支出		△ 830	△ 1,599	△ 1,973
6. 自己株式の取得による支出		△ 398	△ 303	△ 422
7. 配当金の支払額		△ 663	△ 654	△ 676
財務活動によるキャッシュ・フロー		5,406	1,175	2,136
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額(減少は△)		△ 1	453	9
VI 現金及び現金同等物の期首残高		2,015	2,025	2,015
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		2,014	2,478	2,025

(補足資料1)

四半期連結事業部門別売上高

(単位：百万円, 端数切捨表示)

事業部門の名称		前年同四半期 〔平成19年3月期 第3四半期〕	当四半期 〔平成20年3月期 第3四半期〕	対前年同期比	(参考) 前期 (平成19年3月期)
医薬品事業	医療用医薬品部門	24,419	22,967	△5.9	34,406
	コンシューマーヘルスケア部門	13,827	14,083	1.9	18,204
	小計	38,246	37,051	△3.1	52,610
その他の事業		112	108	△3.0	146
合計		38,358	37,160	△3.1	52,757

(補足資料2)

新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成20年1月29日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請準備中	Z-206/メサラジン	自社	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出制御製剤	導入
フェーズⅢ	Z-206/メサラジン	共同開発 (協和発酵工業)	クローン病	pH依存型放出制御製剤	導入
	Z-103/ ボラプレジック	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック効能追加
フェーズⅢ準備中	Z-338/Acotiamide	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅠ/Ⅱ 準備中	Z-208/タミバロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作働作用	導入

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー効能追加
フェーズⅠ準備中	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ (韓国)	Z-103/ボラプレジック	導出 (SK Chemical)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	導入
フェーズⅡ (欧州)	Z-338/Acotiamide	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ (北米)	Z-338/Acotiamide	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	導出 自社オリジナル
フェーズⅡ準備中 (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK $_2$ 受容体拮抗作用	自社オリジナル